

小学校国語

【書くこと】米作りについて解説する文章を書く（大問3）

1 二 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

- ・指定されたグラフや資料から読み取れる米作りの問題点とその解決方法を【川村さんの文章】の空欄に当てはまるように、60字以上100字以内にまとめて書く。

（正答例）

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。（100字）

（誤答例）

- ・米作りの問題点としては、雑草に栄養を取られたり、いねが病気になるたりしてしゅうかく量が減ってしまうことが考えられます。なので、解決方法として、雑草取りをする人数や回数を増やすことにしました。（95字）

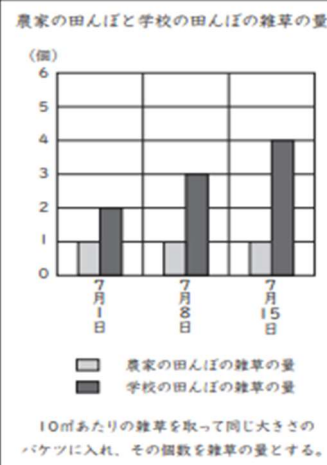
〈誤答例の分析と課題〉

上記のように解答した児童は、米作りの問題点と解決方法を前後の文章に合うように書いています。しかし、指定されたグラフや資料の内容を漏れなく取り入れることができず、条件を満たすことができていません。このことから、複数の資料を見比べて要点を整理し、自分の伝えたいことと照らし合わせながら文章の中に取り入れて書くことに、課題があると考えられます。

〈改善策〉

「記述」に関する指導事項の定着を図るためには、単元の中で資料を活用して文章を書く場を設定したり、情報の収集や推敲において協働的な学習活動を設定したりすることが重要です。授業の中では、表、グラフ、写真等の様々な資料に触れる機会を増やすとともに、資料の中の重要だと思える言葉に印をつける活動や資料同士の関連を図示する活動を設定することで、児童が資料を効果的に活用しながら文章を書けるよう促していくことが考えられます。また、書いた文章について友達とアドバイスし合う際には、必要に応じてチェックカード等を活用することで、条件に合わせて書くことへの意識を高めることができるでしょう。

【川村さんの文章】の中のグラフ



【カード④】

7月20日
【農家の石山さんのお話】
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
【学校でできる解決方法】
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。